



2025年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2025年10月31日

上場会社名 住友重機械工業株式会社

上場取引所

東

コード番号 6302

URL <https://www.shi.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 下村 真司

問合せ先責任者 (役職名) IR広報部長

(氏名) 島村 佳孝 (TEL) 03-6737-2332

配当支払開始予定日 —

決算補足説明資料作成の有無 : 有

決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト・マスコミ向け)

(百万円未満四捨五入)

1. 2025年12月期第3四半期の連結業績(2025年1月1日~2025年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年12月期第3四半期	753,211	△2.4	34,747	△15.4	31,535	△10.6	19,900	△18.1
2024年12月期第3四半期	772,072	△0.1	41,050	△17.5	35,289	△29.9	24,297	△29.2

(注) 包括利益 2025年12月期第3四半期 7,974百万円(△73.0%) 2024年12月期第3四半期 29,551百万円(△55.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年12月期第3四半期	165.58	—
2024年12月期第3四半期	200.55	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年12月期第3四半期	1,261,644	639,025	50.2
2024年12月期	1,260,242	646,418	50.8

(参考) 自己資本 2025年12月期第3四半期 633,291百万円 2024年12月期 640,681百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年12月期	—	60.00	—	65.00	125.00
2025年12月期	—	60.00	—		
2025年12月期(予想)				65.00	125.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2025年12月期の連結業績予想(2025年1月1日~2025年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,050,000	△2.0	50,000	△9.3	44,000	△10.5	25,000	223.8	208.02

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 一社、除外 一社

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2025年12月期3Q	122,905,481株	2024年12月期	122,905,481株
② 期末自己株式数	2025年12月期3Q	2,723,185株	2024年12月期	2,725,562株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2025年12月期3Q	120,183,543株	2024年12月期3Q	121,156,550株

※期末自己株式数及び期中平均株式数の算定上控除する自己株式には、取締役等への株式報酬制度のために設定した株式交付信託に係る信託口が保有する当社株式を含めております。

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は : 無
監査法人によるレビュー

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等につきましては、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況	2
(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(会計方針の変更)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等の注記)	9
(重要な後発事象)	10
3. 補足情報	11

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況

当第3四半期における当社グループを取り巻く経営環境は、国内において設備投資や輸出が底堅く推移する一方、半導体市況の持ち直しには引き続き足踏みが見られました。海外においては、米国では通商政策による不透明感が増す中で、足元は引き続き景気が堅調に推移しました。欧州では景気に持ち直しの動きが見られ、中国でも景気の低迷が続く中で一定の需要の増加が見られました。

このような経営環境のもと、当社グループは「中期経営計画2026」に基づき、製品・サービスによる社会課題解決を通じて持続的に企業価値を拡大することをめざし、強靱な事業体の構築へ向け、収益力改善、資本効率向上、新事業探索の強化を遂行するとともに、SDGsへの貢献拡大及び環境負荷低減への取組み強化などの施策を推進してまいりました。

この結果、当社グループの受注高は7,897億円(前年同期比19%増)となりました。一方、受注残が少なかったことから、売上高は7,532億円(前年同期比2%減)となりました。損益面につきましては、営業利益は347億円(前年同期比15%減)、経常利益は315億円(前年同期比11%減)となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は199億円(前年同期比18%減)となりました。

各セグメント別の状況は、以下のとおりであります。

なお、当連結会計年度より、セグメント運営の効率化とシナジー推進を目的として、セグメント間の事業の組替えを実施することとしました。具体的には、メカトロニクスセグメントのレーザ関連装置についてインダストリアル マシナリーセグメントへ、またインダストリアル マシナリーセグメントの極低温冷凍機についてメカトロニクスセグメントへの組替えを実施しました。このため、前年同期比の数値につきましては、組替え後の報告セグメントの区分に基づき作成した前第3四半期連結会計期間の数値との比較としております。

① メカトロニクス

減・変速機は国内、海外とも需要が回復、モータ、インバータは欧州顧客の在庫調整が解消し、それぞれ受注が増加しました。受注の増加に伴い、売上、営業利益も増加しました。

この結果、受注高は2,009億円(前年同期比9%増)、売上高は1,983億円(前年同期比5%増)、営業利益は140億円(前年同期比53%増)となりました。

② インダストリアル マシナリー

プラスチック加工機械事業は、中国の電気電子関連を中心に需要が増加し、受注、売上、営業利益共に増加しました。

その他の事業では、半導体関連の需要が減少した一方、その他の機種で全般に需要が増加したことから、受注は増加しました。一方、半導体関連の受注残が少なかったことから売上、営業利益は減少しました。

この結果、受注高は1,661億円(前年同期比10%増)、売上高は1,486億円(前年同期比9%減)、営業損失は25億円となりました。

③ ロジスティックス&コンストラクション

油圧ショベル事業は、北米の代理店での在庫調整の一巡を受けて受注は増加しました。一方、国内や北米で前期の受注が少なかったことから売上、営業利益は減少しました。

建設用クレーン事業は、受注は前年同期並みとなった一方、受注残があったことから売上、営業利益は増加しました。

運搬機械事業は、市況が堅調で受注、売上は増加しましたが、高採算案件の減少により営業利益は減少しました。

この結果、受注高は2,783億円(前年同期比16%増)、売上高は2,720億円(前年同期比5%減)、営業利益は129億円(前年同期比40%減)となりました。

④ エネルギー&ライフライン

エネルギープラント事業は、欧州でバイオマス発電設備を受注したことから受注が増加しました。受注残が少なかったことから売上は減少しましたが、プロジェクトの採算性の改善に加え、前期に実施した液化空気エネルギー貯蔵システム(LAES)事業化に向けた開発投資が一段落したことから開発費が減少し、営業利益は増加しました。

その他の事業は、水処理装置、海洋構造物などの受注が増加し、水処理装置などでの受注残があったことから売上、営業利益も増加しました。

この結果、受注高は1,396億円(前年同期比64%増)、売上高は1,296億円(前年同期比1%減)、営業利益は86億円(前年同期比322%増)となりました。

⑤ その他

受注高は48億円(前年同期比2%増)、売上高は48億円(前年同期比4%増)、営業利益は17億円(前年同期比23%増)となりました。

(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況

① 資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末(2025年9月30日)における総資産は、前連結会計年度末と比べて受取手形、売掛金及び契約資産が320億円減少した一方、棚卸資産が175億円、有形固定資産が154億円それぞれ増加したことなどにより、前連結会計年度末比14億円増の1兆2,616億円となりました。

負債合計は、支払手形及び買掛金が76億円減少した一方、有利子負債が121億円増加したことなどにより、前連結会計年度末比88億円増の6,226億円となりました。

純資産は、利益剰余金が51億円増加した一方、為替換算調整勘定が104億円減少したことなどにより、前連結会計年度末比74億円減の6,390億円となりました。

以上の結果、自己資本比率は、前連結会計年度末比0.6ポイント減の50.2%となりました。

② キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ22億円減少し、1,053億円となりました。当第3四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第3四半期連結累計期間における営業活動によるキャッシュ・フローは、446億円の資金の増加となり、前年同期に比べて340億円の増加となりました。これは、仕入債務の減少幅が縮小したこと、棚卸資産の増加幅が縮小したことなどによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第3四半期連結累計期間における投資活動によるキャッシュ・フローは、421億円の資金の減少となり、前年同期並みの支出となりました。これは、連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出が増加した一方で、貸付金の回収による収入が増加したことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第3四半期連結累計期間における財務活動によるキャッシュ・フローは、40億円の資金の減少となり、前年同期に比べて385億円の支出の増加となりました。これは、自己株式の取得による支出が減少した一方で、有利子負債による資金調達額が前年同期比で減少したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年8月5日の決算短信で公表した2025年12月期の連結業績予想につきましては、修正は行っておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	111,132	108,649
受取手形、売掛金及び契約資産	307,423	275,423
棚卸資産	333,852	351,355
その他	34,350	36,457
貸倒引当金	△2,263	△2,154
流動資産合計	784,495	769,730
固定資産		
有形固定資産		
土地	112,062	111,946
その他(純額)	235,936	251,431
有形固定資産合計	347,998	363,377
無形固定資産		
のれん	8,020	8,323
その他	20,241	20,817
無形固定資産合計	28,261	29,140
投資その他の資産		
その他	100,431	100,667
貸倒引当金	△944	△1,270
投資その他の資産合計	99,487	99,397
固定資産合計	475,747	491,914
資産合計	1,260,242	1,261,644
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	153,158	145,605
短期借入金	84,806	75,896
1年内償還予定の社債	20,000	—
1年内返済予定の長期借入金	4,649	3,090
コマーシャル・ペーパー	17,000	35,000
賞与引当金	7,963	16,295
保証工事引当金	11,451	12,106
その他の引当金	4,077	2,430
その他	112,788	105,301
流動負債合計	415,892	395,724
固定負債		
社債	40,000	60,000
長期借入金	72,166	76,755
退職給付に係る負債	35,011	36,885
再評価に係る繰延税金負債	20,408	20,860
引当金	167	164
その他	30,181	32,231
固定負債合計	197,933	226,895
負債合計	613,824	622,619

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	30,872	30,872
資本剰余金	25,203	25,188
利益剰余金	428,776	433,866
自己株式	△11,207	△11,142
株主資本合計	473,644	478,784
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	7,953	7,860
繰延ヘッジ損益	△1,233	△481
土地再評価差額金	40,307	39,386
為替換算調整勘定	96,993	86,636
退職給付に係る調整累計額	23,017	21,105
その他の包括利益累計額合計	167,037	154,507
非支配株主持分	5,737	5,734
純資産合計	646,418	639,025
負債純資産合計	1,260,242	1,261,644

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年9月30日)
売上高	772,072	753,211
売上原価	583,682	567,644
売上総利益	188,390	185,566
販売費及び一般管理費	147,339	150,819
営業利益	41,050	34,747
営業外収益		
受取利息	1,078	1,088
受取配当金	1,026	1,113
投資有価証券売却益	838	1,349
その他	1,720	2,479
営業外収益合計	4,662	6,029
営業外費用		
支払利息	2,623	2,696
為替差損	3,554	2,047
特許関係費用	1,045	1,022
その他	3,201	3,475
営業外費用合計	10,423	9,241
経常利益	35,289	31,535
特別損失		
減損損失	825	655
事業構造改革費用	—	431
特別損失合計	825	1,086
税金等調整前四半期純利益	34,464	30,449
法人税等	9,419	10,259
四半期純利益	25,045	20,190
非支配株主に帰属する四半期純利益	747	290
親会社株主に帰属する四半期純利益	24,297	19,900

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年9月30日)
四半期純利益	25,045	20,190
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	884	△93
繰延ヘッジ損益	583	753
土地再評価差額金	—	△596
為替換算調整勘定	4,147	△10,372
退職給付に係る調整額	△1,114	△1,905
持分法適用会社に対する持分相当額	6	△3
その他の包括利益合計	4,506	△12,216
四半期包括利益	29,551	7,974
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	28,545	7,695
非支配株主に係る四半期包括利益	1,006	279

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2024年1月1日 至2024年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自2025年1月1日 至2025年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	34,464	30,449
減価償却費	27,756	28,273
減損損失	825	655
事業構造改革費用	—	431
投資有価証券売却益	△838	△1,349
受取利息及び受取配当金	△2,103	△2,201
支払利息	2,623	2,696
引当金の増減額(△は減少)	4,766	7,468
売上債権及び契約資産の増減額(△は増加)	29,216	32,007
棚卸資産の増減額(△は増加)	△27,469	△21,194
仕入債務の増減額(△は減少)	△31,805	△5,535
その他	△8,111	△12,854
小計	29,324	58,846
利息及び配当金の受取額	2,387	2,144
利息の支払額	△2,607	△2,515
法人税等の支払額	△18,461	△13,839
営業活動によるキャッシュ・フロー	10,642	44,635
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形及び無形固定資産の取得による支出	△39,944	△41,343
有形及び無形固定資産の売却による収入	38	1,518
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	—	△3,047
関係会社株式の取得による支出	△162	△161
投資有価証券の取得による支出	△15	△425
投資有価証券の売却による収入	1,106	1,742
短期貸付金の増減額(△は増加)	△155	18
貸付けによる支出	△6,928	△8,361
貸付金の回収による収入	4,312	7,948
その他	△624	△35
投資活動によるキャッシュ・フロー	△42,372	△42,146
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	21,584	△7,597
コマーシャル・ペーパーの増減額(△は減少)	15,000	18,000
長期借入れによる収入	26,792	7,610
長期借入金の返済による支出	△9,902	△4,226
社債の発行による収入	20,000	20,000
社債の償還による支出	△10,000	△20,000
配当金の支払額	△14,525	△14,984
非支配株主への配当金の支払額	△2,019	△255
自己株式の取得による支出	△10,032	△266
その他	△2,443	△2,301
財務活動によるキャッシュ・フロー	34,455	△4,018
現金及び現金同等物に係る換算差額	756	△803
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	3,481	△2,333
現金及び現金同等物の期首残高	100,235	107,542
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	—	243
連結除外に伴う現金及び現金同等物の減少額	—	△135
現金及び現金同等物の四半期末残高	103,716	105,317

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用につきましては、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(会計方針の変更)

(「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」等の適用)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」(企業会計基準第27号 2022年10月28日。以下「2022年改正会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。

法人税等の計上区分(その他の包括利益に対する課税)に関する改正については、2022年改正会計基準第20-3項ただし書きに定める経過的な取扱い及び「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号 2022年10月28日。以下「2022年改正適用指針」という。)第65-2項(2)ただし書きに定める経過的な取扱いに従っております。なお、当該会計方針の変更による当第3四半期連結財務諸表への影響はありません。

また、連結会社間における子会社株式等の売却に伴い生じた売却損益を税務上繰り延べる場合の連結財務諸表における取扱いの見直しに関連する改正については、2022年改正適用指針を第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。なお、当該会計方針の変更が過去の期間に与える影響が軽微であるため、遡及適用及び当連結会計年度の期首の利益剰余金等の修正は行っておりません。また、この変更が当第3四半期連結財務諸表に与える影響は軽微であります。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等の注記)

(セグメント情報)

1 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社は、本社及び各連結子会社別に、取り扱う製品・サービスにつきまして国内及び海外の包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。従って、本社及び各連結子会社の製品・サービス別のセグメントから構成されており、「メカトロニクス」、「インダストリアル マシナリー」、「ロジスティクス&コンストラクション」、「エネルギー&ライフライン」の4つを報告セグメントとしております。

事業区分	主要製品
メカトロニクス	減・変速機、モータ、インバータ、極低温冷凍機、精密位置決め装置、制御システム装置
インダストリアル マシナリー	プラスチック加工機械、フィルム加工機械、精密鍛造品、半導体製造装置、レーザ加工システム、加速器、医療機械器具、鍛造プレス、工作機械、空調設備、防衛装備品
ロジスティクス& コンストラクション	油圧ショベル、建設用クレーン、道路機械、運搬荷役機械、物流システム、駐車場システム
エネルギー& ライフライン	自家発電設備、ボイラ、大気汚染防止装置、水処理装置、タービン、ポンプ、反応容器、攪拌槽、食品製造機械、船舶、海洋構造物

2 報告セグメントの変更等に関する事項

当連結会計年度より、セグメント運営の効率化とシナジー推進を目的として、セグメント間の事業の組替えを実施することとしました。具体的には、メカトロニクスセグメントのレーザ関連装置についてインダストリアル マシナリーセグメントへ、またインダストリアル マシナリーセグメントの極低温冷凍機についてメカトロニクスセグメントへの組替えを実施しました。このため、「3 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報」の前第3四半期連結累計期間の数値につきましては、組替え後の報告セグメントの区分に基づき作成したものを記載しております。

3 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

前第3四半期連結累計期間(自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)

(単位：百万円)

	報告セグメント					その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注3)
	メカトロ ニクス	インダストリアル マシナリー	ロジスティックス & コンストラクション	エネルギー & ライフライン	計				
売上高									
外部顧客への 売上高	188,244	162,635	285,782	130,813	767,473	4,598	772,072	—	772,072
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	1,780	1,025	281	744	3,829	2,596	6,425	△6,425	—
計	190,024	163,660	286,062	131,557	771,303	7,194	778,496	△6,425	772,072
セグメント利益	9,154	7,059	21,417	2,046	39,675	1,436	41,111	△60	41,050

(注)1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産事業、ソフトウェア関連事業、及びその他の事業を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額△60百万円は、セグメント間取引消去によるものであります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第3四半期連結累計期間(自 2025年1月1日 至 2025年9月30日)

(単位：百万円)

	報告セグメント					その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注3)
	メカトロ ニクス	インダストリアル マシナリー	ロジスティックス & コンストラクション	エネルギー & ライフライン	計				
売上高									
外部顧客への 売上高	198,260	148,612	272,010	129,551	748,434	4,777	753,211	—	753,211
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	1,663	864	384	2,428	5,339	2,512	7,852	△7,852	—
計	199,924	149,477	272,394	131,979	753,773	7,289	761,062	△7,852	753,211
セグメント利益又は 損失(△)	14,022	△2,490	12,886	8,638	33,056	1,680	34,735	12	34,747

(注)1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産事業、ソフトウェア関連事業、及びその他の事業を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額12百万円は、セグメント間取引消去によるものであります。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

3. 補足情報

(セグメント別受注高・売上高・受注残高)

「1. 経営成績等の概況 (1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況」に記載のとおり、当連結会計年度よりセグメント間の事業の組替えを実施しております。このため、前第3四半期連結累計期間及び前連結会計年度の数値につきましては、組替え後の報告セグメントの区分に基づき作成したものを記載しております。

① 受注高

(単位：百万円)

セグメント	前第3四半期連結累計期間 (2024/1～2024/9)	当第3四半期連結累計期間 (2025/1～2025/9)	増減	
	金額	金額	金額	比(%)
メカトロニクス	183,716	200,898	17,181	9.4
インダストリアル マシナリー	151,658	166,081	14,423	9.5
ロジスティックス& コンストラクション	240,513	278,263	37,750	15.7
エネルギー& ライフライン	85,187	139,592	54,405	63.9
その他	4,732	4,842	110	2.3
合計	665,807	789,676	123,869	18.6

② 売上高

(単位：百万円)

セグメント	前第3四半期連結累計期間 (2024/1～2024/9)	当第3四半期連結累計期間 (2025/1～2025/9)	増減	
	金額	金額	金額	比(%)
メカトロニクス	188,244	198,260	10,016	5.3
インダストリアル マシナリー	162,635	148,612	△14,023	△8.6
ロジスティックス& コンストラクション	285,782	272,010	△13,772	△4.8
エネルギー& ライフライン	130,813	129,551	△1,261	△1.0
その他	4,598	4,777	178	3.9
合計	772,072	753,211	△18,861	△2.4

③ 受注残高

(単位：百万円)

セグメント	前連結会計年度 (2024.12.31)	当第3四半期連結会計期間 (2025.9.30)	増減	
	金額	金額	金額	比(%)
メカトロニクス	91,726	94,363	2,637	2.9
インダストリアル マシナリー	144,239	161,707	17,469	12.1
ロジスティックス& コンストラクション	204,320	210,573	6,253	3.1
エネルギー& ライフライン	190,626	200,667	10,041	5.3
その他	1,926	1,991	66	3.4
合計	632,836	669,301	36,465	5.8